

- 問1 和歌山県では農業産出額に占める果実の割合が非常に高いですが、このように果樹栽培が盛んになった地理的な背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--------------------------------------|---|
| 1. 黒潮の影響を受けた温暖な気候であり、水はけが良い傾斜地が多く存在するため。 | 2. 広大な平野を活用し、大型機械を用いた大規模な土地利用型農業が行われているため。 | 3. 冬の積雪量が多く、その雪解け水を活用した灌漑設備が整っているため。 | 4. 都市近郊に位置しているため、輸送園芸農業として野菜の施設栽培が発達したため。 |
|--|--|--------------------------------------|---|
- 問2 大阪府の昼間人口比率は104.4となっており、夜間人口よりも昼間人口の方が多く状態にあります。このような統計結果が生じる社会的背景として、最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 工場の地方移転により、府内の労働者が隣接する県へ毎日通勤するようになったため | 2. 広大な農地での作業に従事するため、季節ごとに周辺地域から多くの労働者が雇い入れられるため | 3. 府内の住宅地開発が進み、周辺の都市へ働きに出る現役世代の居住者が急増したため | 4. 大都市圏の中心地として多くの企業や学校が集まり、近隣府県から多くの人々が移動してくるため |
|---|---|---|---|
- 問3 日本の諸地域の気候を分析した資料において、ある都市は、夏から秋にかけて降水量のピークが見られる一方で、冬の降水量は非常に少なくなるという、太平洋側の気候に近い特徴を示しています。瀬戸内海沿岸に位置しながらこのような降水パターンの特徴を持つ都市として、最も適切なものを答えなさい。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|--------|--------|--------|
| 1. さいたま市 | 2. 福岡市 | 3. 新潟市 | 4. 大阪市 |
|----------|--------|--------|--------|
- 問4 日本の観光産業に関する記述として、京都府の特徴を説明したものを選びなさい。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 自動車産業の拠点が集積しているため、欧米からのビジネス目的の宿泊客が過半数を占める。 | 2. 伝統文化への関心が高いアメリカ合衆国など、欧米からの宿泊客が他県より多い傾向にある。 | 3. アジア近隣諸国からの格安航空会社（LCC）利用客が、安価な日用品の大量購入を目的に訪れる。 | 4. 自然景観の保護を優先するため、外国人の宿泊施設利用を厳しく制限している。 |
|---|---|--|---|
- 問5 近畿地方のある府県では、2015年の統計によると外国人宿泊者数のうち中国からの観光客が約81万7千人と最も多いものの、アメリカ合衆国からの宿泊客も約45万1千人にのぼります。他地域に比べて欧米諸国からの割合が高いこの府県において、多くの外国人観光客が訪れる主な目的として最も適切なものはどれですか。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------|------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 熱帯の自然環境を活かしたレジャーやマリンスポーツを楽しむこと | 2. 大規模な工業地帯を見学し、ビジネス交流を行うこと | 3. 歴史ある神社仏閣を巡り、日本の伝統文化に触れること | 4. 最新の電化製品やアニメなどのサブカルチャー商品を購入すること |
|-----------------------------------|-----------------------------|------------------------------|-----------------------------------|
- 問6 兵庫県は、近隣の府県と比較して約20兆9378億円という際立って高い県内総生産を記録しています。このように兵庫県の経済規模が大きくなっている地理的・産業的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 県内の重要文化財件数が466件と全国有数であり、国際的な観光都市としてのサービス業収入が経済の大部分を占めるため。 | 2. 大阪から神戸にかけて広がる阪神工業地帯の中核を担い、臨海部の重化学工業や内陸の地場産業が発展しているため。 | 3. 瀬戸内海に面した香川県や山口県と同様に、内海での養殖業を中心とした水産業が経済規模を押し上げているため。 | 4. 広大な平野部を利用した農業産出額が非常に高く、近畿地方における食料供給基地としての役割が経済を支えているため。 |
|--|--|---|--|
- 問7 滋賀県に位置する安土城や長浜城、坂本城などの城郭は、その立地に共通した特徴があります。戦国時代から安土桃山時代にかけて、これらの城が琵琶湖のすぐ近くに築かれた主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---------------------------------------|---|---|
| 1. 険しい山頂に築くことで、標高の高さによる圧倒的な視認性を確保し、敵軍の侵入を物理的に遮断するため | 2. 琵琶湖の豊かな水を利用して、水田開発を進めるための農業拠点とするため | 3. 内陸部からの敵の侵入を防ぐため、周囲に広大な平野が広がる近江盆地の中央部に孤立させるため | 4. 琵琶湖を天然の堀として防御に利用し、同時に湖上の船を利用した物流や軍隊の移動を円滑にするため |
|---|---------------------------------------|---|---|
- 問8 滋賀県の琵琶湖周辺で見られる、背の高い植物が群生する「ヨシ群落」が持つ環境保全上の役割として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 外来種の繁殖を物理的に防ぐために、湖に流入するすべての河川の水を遮断し、湖水の循環を一時的に停止させる役割 | 2. 湖岸の埋め立て事業を効率的に進めるための地盤改良を行い、工業地帯や住宅地を拡大させることで経済活動を促進する役割 | 3. 湖底の土砂が堆積するのを防ぐために、岸辺の植物をすべて取り除き、大型船が自由に航行できる水深を確保する役割 | 4. 湖水の汚れの原因となる物質を吸収する水質浄化作用を持ち、魚類や鳥類などの多様な生き物のすみかとなる生態系を維持する役割 |
|--|---|--|--|
- 問9 ある地域における統計において、人口密度が1平方キロメートルあたり564.4人と比較的高く、国から指定された伝統的工芸品の品目数が17品目にのぼる府県があります。この地域の産業的特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 輪島塗のような漆器産業が17品目のうち過半数を占めており、近畿地方における伝統工芸の供給拠点となっている。 | 2. 伝統的工芸品の種類は多いが、人口密度が高いため職人の確保が難しく、小千谷縮のように農村部の副業として発展した品目が中心である。 | 3. 長い歴史の中で都で栄えた背景から、西陣織や清水焼などの高い技術を要する工芸品が現代まで数多く継承されている。 | 4. 人口密度が高いため、都市近郊農業と並行して、九谷焼などの色鮮やかな陶磁器を大規模な工場で工業生産している。 |
|--|--|---|--|
- 問10 日本の諸地域のうち、近畿地方に位置する京阪神大都市圏の歴史的・地理的特徴について述べた文として、最も適切なものを選択してください。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 中央官庁や大企業の本社が極度に集中しており、その圏域内に横浜市や千葉市、さいたま市など5つの政令指定都市を持つ、日本で最大の人口規模を誇る都市圏である。 | 2. 江戸時代から淀川などの河川を利用した水運が発達して商業の中心地となり、高度経済成長期には都市部の住宅不足を補うため周辺の山地を切り開いてニュータウンが建設された。 | 3. 東西にある2つの巨大な都市圏の中間に位置しており、自動車産業を中核とした出荷額が日本最大である工業地帯を背景に、工業と商業が密接に結びついて発展した。 | 4. 古くから国際的な貿易港を中心に発展し、現在では広大な平野部をすべて工業用地として活用することで、先端技術産業の集積地としての役割を強めている。 |
|---|--|--|--|
- 問11 琵琶湖における赤潮の発生日数は、1970年代後半から現在にかけて大幅に減少しています。この改善の背景にある、滋賀県が全国平均を上回るペースで積極的に推進してきた公共施設の整備状況と、その効果についての説明として正しいものはどれですか。 (2026年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 高速道路の整備を優先することで、沿岸部での物流による交通渋滞を緩和し、排気ガスの影響を低減させた。 | 2. 太陽光発電の普及率を高めることで、化石燃料による汚染物質の流入を防ぎ、生態系の保全を進めた。 | 3. 大規模な多目的ダムを建設することで、湖水の循環を人為的に早め、有害物質を短期間で海へ流し出す体制を整えた。 | 4. 下水道普及率を大幅に向上させることで、家庭の汚水が直接湖に流れ込まない仕組みを強化し、水質改善につなげた。 |
|--|---|--|--|